

小論文特集

3年生は、これからいよいよ進路決定のための試験が始まります。AO、公募制推薦で、必ずといっていいほど試験科目に課されるのが小論文です。今まで、学年の進路行事等で小論文対策をやってきましたが、ここで、改めて小論文をどうやって克服したら良いのかポイントを上げてみましょう。

1) 小論文は作文と違う！

作文は自分の感じたこと、思ったことを書くものです。小論文は、自分の考えたことを書くもの、自分の意見や主張をまとめた文章です。ですから、ただ自分の感想を書いただけでは、小論文にはなりません。(→裏面参照①、どちらが小論文？)

2) 小論文で落としてはいけないものは？

ある問題について、自分の考え(イエスかノー)をしっかりと述べる。例えば、「学生にアルバイトは必要か？」という問いに対して、自分は必要か必要でないのか、はっきり決めなければなりません。仮に必要だと考えれば、「私は学生にアルバイトは必要だ」と明確に述べなければなりません。これを**問題提起**と言います。小論文ではこの問題提起が要になります。大学によっては、あらかじめ問題提起を作者の文章や問いの形で提示し、それに対して文をまとめさせるところもあります。

(→裏面参照② 出題例)

3) 問題提起を自分で選ぶ場合のコツ

① 賛否両論があるもの

誰もが賛成する事柄は、小論文の問題提起としては成立しにくいものになります。例えば、「平和は大切だ。」ということに反対する者は少ないでしょう。戦争を望む人々も、決して平和をないがしろにはしません。平和のために戦争をするという大義名分を立てます。それでは、そこで結論が終わってしまいます。「学生にアルバイトは必要だ。」の場合には、賛否が分かれるはずで。

② 自分の手に負えるテーマを選ぶ

小論文は決められた時間内で書かなければなりません。調べなくては書けないような、自分の手持ちの知識を超えた問題提起は避けましょう。例えば、統計数値を元にしなければ書けないもの、「ガラケーの数が以前より増えている」というようなテーマは扱いようがありません。

③ 社会にとって重要だと思われる事柄を選ぶ

個人の主観に左右されてしまうテーマ、例えば「ドラえもん」と「アンパン」ではどちらがすぐれているか」では議論にはなるでしょうが、小論文のテーマにはなりません。個人の好みになってしまいます。社会全体にとって役に立つか立たないのかという基準で問題提起をするべきです。

4) 小論文にはパターンがある

問題提起だけでも、もちろん小論文にはなりません。「学生にはアルバイトが必要だと考える」で終わってしまったら、ただの意見表明です。小論文においては、自分の問題提起を、読む人に理解してもらい、納得してもらうことが一番重要な点になります。その場合の文章の流れを示しましょう。

- ① 問題提起 「だろうか」 :「学生にはアルバイトが必要ではないだろうか」
- ② 意見提示「たしかに～しかし」 :「たしかに、アルバイトばかりやっていて学業を疎かにする学生もいて、学生の本分ではないという考えもあるが、私はアルバイトが決して学生にとって有害だとは思わない。」
- ③ 展開 「なぜなら～」 :「なぜなら、アルバイトをすることで、学校では学べない貴重な社会体験ができるからだ。将来は、学生も仕事につくことになる。その時、アルバイトで得た経験は必ず役に立つだろう。さらに、わずかにせよ、親の家計の手助けにもなる。」
- ④ 結論「よって私は～と考える」 :「よって、私はアルバイトは学生にとって必要だと考える」

上のパターンの中でどこが一番重要でしょうか？ もちろん③の展開部です。展開部は自分の立てた問題提起の理由や根拠を述べる箇所であり、読む人が納得してくれるかどうかの鍵になります。

上のアルバイトの具体例は、パターンを分かりやすくするために、かなりお粗末に作ってありますが、最も駄目なところは、誰もが考えそうな一般論を述べているだけだからです。読む人に納得してもらえするためには、具体例や自分の体験に基づいた論述も必要になります。

5) 展開部を充実させるためには

展開部をより説得力のあるものにするには、Why だけではなく、When, Where, How が必要になります。上記の例に理由だけでなく、いつ、どこで、どんなアルバイトをやり、どんな経験が自分にとって役に立ったのか、書き加えれば、もっと説得力のある文になるでしょう。

[1, 2年生諸君に]

小論文を書くことは、付け焼き刃でできるものではありません。常日頃から、社会問題に関心を持ち、その問題について、自分はどう考えるのかを整理しておくことが大切です。そのための一番手っ取り早い参考書は新聞です。特に新聞のコラムや社説は、800字～1000字の小論文のモデルのような文です。面倒くさがらずに、毎日読んでゆくとずいぶん差が出てくるはずですよ。

[3年生諸君に]

「習うより慣れろ」ということわざもあります。残された時間はわずかですから、試験の前日まで一文でも多くできる限りたくさん書いて、添削してもらいましょう。一日、一文を目標に、添削する先生を困らせるくらい書いていけば、絶対に成功する小論文にたどり着くはずですよ。



参照①

どっちが小論文？

テーマ「運動会」

小学生のうちから競争させ、順位づけするのは良くないと、運動会自体を廃止する学校があるという。だが、私はこれには反対だ。

なぜなら、運動会が得意な子の個性発揮の場を奪うことになる、と考えるからだ。子どもたちが学校で過ごす中で、テストの点数のよい悪い、歌の上手下手など、誰にも得意や苦手があることはわかっている。運動が得意な子にとっては、運動会は個性発揮の機会なので、それを奪うことはその子のアイデンティティを失うことになりかねない。また、競争種目で一番をとることだけでなく、チーム競技でリーダーシップを発揮したり、運動の苦手な子のサポートをするということもある。そういった個性を発揮できるところに、運動会の意義があるのだ。よって、私は運動会の廃止に反対だ。

私は先日の運動会で、クラス対抗のリレーに出場しました。2位で受けたバトンを持って懸命に走りました。そして、前の人を抜いたときには、内心「やった！」と思いました。ゴールテープを切った瞬間と、クラスみんなに拍手で迎えられたときは、ヒーローになった気分でした。

去年は、バトンは落とすし、焦って転ぶし散々でしたが、今年はいいい思い出になりました。来年は高校最後の運動会。頑張って走って、またいい思い出をつくりたいです。

ベネッセマナビジョンから引用

当然、最初の文が小論文の形です。違いが分かったでしょうか？

参照②

出題例

*「平等と不平等」について自身の考えを述べる。(600字)

東北福祉大 総合マネジメント

*内閣制度創設の状況を述べた文より、問題点をまとめて現在の総理大臣における統率力のあり方を論じる。(1000字)

慶応大学 法学部

*スポーツがなぜ楽しいか、具体的な例や経験を交えて考えを述べる。

東海大 体育学部

*森鷗外の雁を読んでその心理描写について具体例を挙げて説明し、ある登場人物が独立心を抱いた経緯を記す。(600字)

法政大 文学部

*日本文化を偏ったイメージで発信してしまうことがあるという文より、どのように発信すべきかを記す。(800字)

神奈川大学 外国語学部

*「あなたにとって音楽とは何か」というテーマで述べる。(1000字)

東海大 芸術学部

*高齢化社会に向けてすべきこと

藤田保健衛生大学 衛生技術学科

*心と健康について

大原看護専門学校

*豊かさということ

京都中央看護専門学校

各学部学科に即した内容を問われることが多いことが分かります。大学によっては、かなり深い知識を要求される場合もあります。